



CTF通信

集う・遊ぶ
学ぶ・働く

第97号

2011年4月

発行：CTF松阪

新しい事業年度を迎えて

平成 22 年度は猛暑と厳寒で終わるのかと思っていたところ、3 月 11 日 14 時 46 分に発生した東北地方太平洋沖地震は、大津波を伴い未曾有の被害をもたらしました。被害に遭われた皆様には心からお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧と、皆さまのご健康をお祈り申し上げます。

さて CTF 松阪は、NPO 法人としての 9 年目を迎えました。会員の皆様の温かいご支援・ご協力のおかげをもちまして、着実・堅実に活動を重ね、障がい者の方々から大きな期待が寄せられています。

CTF 松阪の活動目的の一つに“IT を活用した就労および自立支援”があり、役員・スタッフが IT 関連事業の受託に向けて活動を行っていますが、昨年度の実績はわずか 3 件に止まっています。

そこで会員の皆さまにお願いがあります。IT 関連事業、具体的には、ホームページの制作・更新や各種イベントのチラシやパンフレットの制作など、パソコンを使ったお仕事がありましたら、ぜひ事務局までご紹介ください。十分にスキルアップしたワーク会員が、お客様のご要望に沿ったかたちで仕上げさせていただきます。

以下に昨年度の活動実績を報告させていただくとともに、今年度もご支援・ご協力をお願いいたします。

CTF 松阪平成 22 年度活動実績

☆障がい者対象個人向けパソコン講座開催	44 回	受講者	延 144 名
☆障がい者対象夏季パソコン講座開催	6 回	受講者	延 27 名
☆ワーク会員スキルアップ研修会開催	19 回	受講者	延 20 名
☆サポート従事者研修会開催	3 回	受講者	延 28 名
☆障がい者・難病患者宅 IT サポート訪問	39 回		
☆IT 関連業務受注による障がい者就労・自立支援	3 件		
☆会報（CTF 通信）発行	12 回		



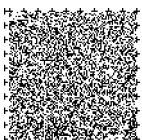
早いもので、当会も今年度で 10 年目を迎える。「集う・遊ぶ・学ぶ・働く」をモットーに、スタッフにも恵まれ、地道な努力をしてきたからこそ今日があるのだと思う。

設立当初、華々しい成果を競っていた先輩たちに追いつこうと、必死にもがいている間に、いつの間にかみんないなくなっていた。今思うと、あの熱狂はなんだったんだろう。

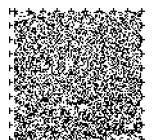
そのおかげで、19 年度から始まった県の難病支援事業の一環である「コミュニケーション支援」を当会が引き受けることになり、この事業も 5 年目を迎える。その間 150 回ほどの訪問支援をしてきたが、結果はいまいちで、期待されるほどの成果が出せていない。最新のハイテク機器を駆使しての支援なのに。第 1 の原因は利用者との間にギャップがありすぎるからだと思うので、今年度はその辺を考慮してローテクでもいいから、利用者のニーズに沿った支援をするよう努力をしなければと考えている。

また、昨年度から全国レベルでのコミュニケーション支援活動がスタートしました。10 年先が楽しみです。

0.1



今月号は文字数が多いので、第 1 ページと第 2 ページ、第 4 ページに SP コードを 2 個付けてあります。第 1 ページと第 2 ページ、第 4 ページでは、先に左下の SP コードを、次に右下の SP コードを読んでください。





皆さんも挑戦してください

プログラムは誰でも作ることができます。ところが実際にプログラムを作っている人は多くないですし、プログラミングの世界に入門したとしてもそのまま離れてしまう人が珍しくありません。いったいなぜでしょう？

その答えは、おそらく「あまりにコンピュータが“お馬鹿”だから」と言ってよいでしょう。実際にプログラミングを体験してみると、コンピュータという存在が単純な処理しかできないわりに、あまりに融通のきかないものであることを実感できると思います。面倒な呪文を要求するのにもかかわらず、たいしたことはやってくれないのです。そのためコンピュータにやらせたい作業があっても、簡単にプログラムを作成できないことが少なくありません。

一方で、お馬鹿であるというのは「自己主張をしない」ということも意味しています。つまりプログラムを作る人間の個性や工夫をどのようにでも反映させることができるということです。だからこそセンスの良いプログラマが作ったプログラムは、同じパソコン上で実行しても、そうでないプログラマが作ったプログラムよりも強力で快適ということが起こるのです。

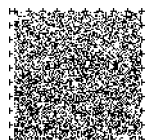
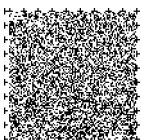
プログラミングとは、人間がコンピュータに奉仕する作業では断じてありません。人間がコンピュータを思い通りに使いこなして、新しい価値を創造していく行為なのです。

プログラム言語には流行がありきめ細かく何でも詳細に指定できる言語が好まれる時代と、とりあえずわずかな行を書くだけで様々な機能を発揮できる手軽な言語が好まれる時代を行きつ戻りつしていると言えます。

今はまさに手軽な言語が好まれる時代であって JavaScript の流行はその典型的な現れといえます。

このような時代に求められるのは必ずしも技術に対する深い知識とは限りません。知識が多少浅くてもセンス良く軽快に冴えたプログラムを作り上げる身軽さのほうがより求められるのです。ベテランの優位性は決定的なものではなく、広く支持される素晴らしいプログラムをビギナーでも作りうる時代だとも言えます。

完



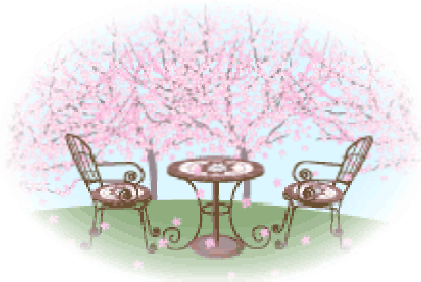
活動報告

【3月】

障がい者対象個人向けパソコン講座
(1日、8日、15日、22日)

訪問ITサポート
(10日、16日、23日、24日、28日)

リユースPC 寄贈式および交流会
(26日)



活動予定

【4月】

障がい者対象個人向けパソコン講座
5日、12日、19日、26日
各 9:30~11:30

松阪市障害者福祉センターにて

理事会
9日 13:30~16:30

松阪市障害者福祉センターにて

予 告

平成 23 年度 CTF 松阪通常総会が 5 月に開催されます。

詳細につきましては、正会員の皆さまに別途ご案内を差し上げますので、多数ご参加いただき、建設的なご意見をくださいますようお願いいたします。



松阪食べある記



さぬき饅頭 徳八

今月は駅部田町の国道 42 号線沿いにある“さぬき饅頭 徳八”を紹介します。

お店はテナントビルの一角で、カウンター席が 12 席だけと大きくはないが、通(つう)の間ではちょっと知られた存在です。

一番人気はカレーうどん。讃岐うどんなのになぜかカレーうどん、そして、なぜかパンが一切れついてきます。このパン、残ったスープにつけて食べるのだそうです。

写真は、徳八カレーうどん(上) 1,000円と
店の外観(下)

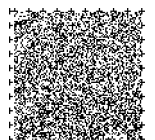
所在地：松阪市駅部田町 753-1

電話：0598-22-2338

営業時間：11:15~14:30

17:30~20:30(土日は21:00まで)

定休日：毎週水曜日



今 笑いを！

E.M

この度の震災で被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

この時期にリレー随筆を書くことになり題材に悩みました。そんな時テレビで大助花子の花子さんが「こんな時だからこそ笑いを絶やしてはいけない！」っておっしゃってるのを聞いて、「これ綾小路きみまろさんにネタを教えてあげたい！」と思うような、最近 私のまわりで起こっているお話をすることにします。

まずは私ごと……この前友人に携帯で電話をかけていると家の電話が鳴りました。主人に「電話でて！」って。やっと携帯が通じて聞こえてきたのは「はい、〇〇です」という主人の声(>_<)

次は知人が本籍地変更の書類をもらいに市役所に行った時のこと……隣にいた自分の娘のような子が手にしている離婚届をみて、「これが離婚届か、こんなに若いのに…」などと考えていたそう。その時市職員の方から「何でしたか？」と聞かれ、知人はどうも「離婚届下さい」と言ったみたいなのです。彼女書類の入った封筒を手渡されて家へ。

夕飯の時ご主人に封筒を差し出し「これ書いといて。私も思い切ったわ！（彼女は本籍地を変えるのを思い切ったつもり）」

封筒の中を見たご主人……目が点だったそうです(@_@)

クスッと、少しでも気持ちが和んで頂けたら幸いです。

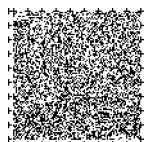


編集後記

東日本大震災、大津波、火災、被災者の皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

大震災のニュースをテレビで見ると被害の大きさに驚くばかりです。一日も早い復興を願うばかりです。・・・

季節は温かい春に向かって動いています、頑張り・頑張りど皆でエールを送りましょう。



CTF 通信第 97 号

2011 年（平成 23 年）4 月発行

発行者 IT を活用した障がい者支援 NPO 法人

CTF 松阪

発行責任者 川 口 保 美

住 所 〒515-0081

松阪市本町 2181-1

電 話 0598-21-7268

U R L <http://ctf.dip.jp/>

